

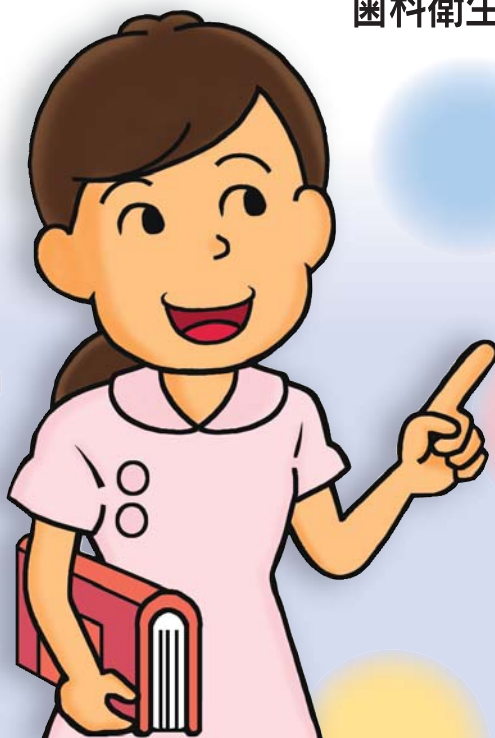
キーワードで完ぺき 

歯科衛生士国家試験

平成
29年版
出題基準
準拠

直前マスター 歯科予防処置！ 第2版

歯科衛生士国試問題研究会 編



赤い
チェックシート
付き

医歯薬出版株式会社



歯・歯周組織の検査

プロービング ★★★

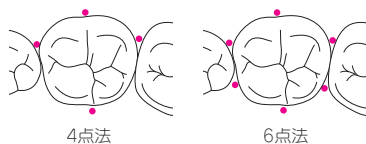
- ・歯周プローブを使用して歯周ポケットの検査を行うこと。

得られる情報

- ・歯周ポケットの深さ・形態
- ・歯周組織の状態（抵抗力，炎症の存在，出血の有無）
- ・歯肉の質・形態
- ・歯根の形態
- ・歯肉縁下プラーク，歯肉縁下歯石の有無と程度
- ・アタッチメントレベル
- ・根分岐部病変の有無とその程度

測定方法

- ・4点法と6点法がある。



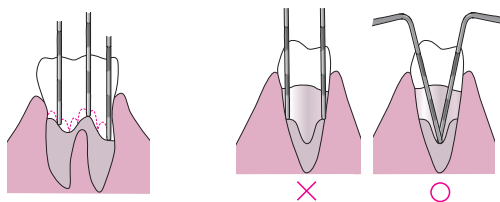
歯周プローブによる測定部位

(E・M willkins : Clinical Practice of the Dental Hygienist, 7th ed., Lea, 1994.)

基本的操作方法

【ウォーキングプロービング】

- ・歯周ポケット内での操作はウォーキングプロービングで行う。
- ・プローブ先端を歯根面に沿わせ，1～2mm程度でポケット底を意識しながら，歩くように探っていく。
- ・歯の周囲のポケットの形態を把握する。
- ・隣接面は歯周ポケットを見逃さないようにプローブを傾けて挿入する。



ウォーキングプロービング

隣接面の測定

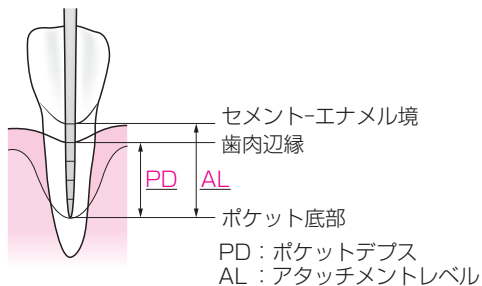
(最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論)

アタッチメントレベル (AL)

- ・ セメント-エナメル境からポケット底部までの位置のこと。
- ・ 歯周組織破壊の変化を示す指標となる。
- ・ アタッチメントレベルが根尖側に移動すること→アタッチメントロス
- ・ アタッチメントレベルが歯冠側に移動すること→アタッチメントゲイン

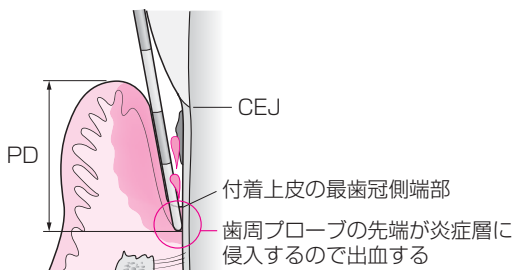
ポケットデプス (PD)

- ・ 歯肉辺縁からポケット底部までの距離



ブリーディングオンプロービング (BOP)

- ・ プロービング時の出血→出血があれば炎症あり
- ・ 出血はブラークによるポケット底部の炎症を反映する重要な指標である。



プロービング時の出血



スケーリング・ルートプレーニング① —手用スケーラー—

スケーリング・ルートプレーニング ★★

スケーリング

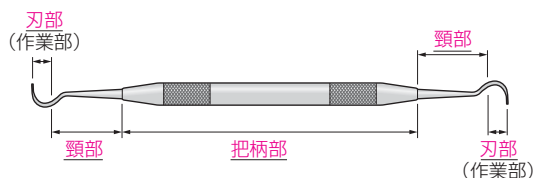
- ・ 歯面に沈着した**歯石**や**沈着物**を機械的操作で除去すること。

ルートプレーニング

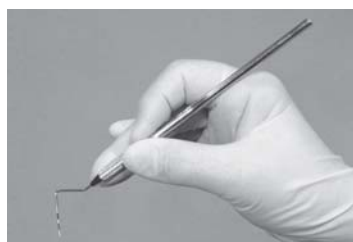
- ・ 細菌の内毒素などによって汚染された**病的セメント質**や**軟化象牙質**を除去し、滑沢で清潔な歯根面をつくり出すこと（歯科診療の補助として行う）。

手用スケーラー ★★

- ・ 刃部、頸部、把柄部で構成される。



- ・ 基本的な把持法は**執筆状変法**である。第1指と第2指でスケーラーを把持し、第3指をスケーラーの側方に置く。



執筆状変法

シクルタイプスケーラーの操作原則 ★

- ・ **歯軸**の方向に操作する。
- ・ 刃は常に歯面に沿わせる。
- ・ 始点と終点を定める。
- ・ 固定点を設ける。

実力完成問題

問 シックルタイプスケーラーの断面図はどれか。



①

②

③

④

a ①

b ②

c ③

d ④

ポイント

スケーラーの形態と刃部断面図 ★★★

スケーラーの形態	シックルタイプスケーラー		キュレット	
	カーブシックルタイプ	ストレートシックルタイプ	ユニバーサルタイプ	グレイシータイプ
刃部断面図				
スケーラーの形態	ホウタイプ (鋳型スケーラー)	ファイルタイプ (やすり型スケーラー)	チゼルタイプ (のみ型スケーラー)	
刃部断面図				

解答へのアプローチ

答 b

a × グレイシータイプキュレットである。

b ○

c × のみ型スケーラーである。

d × ユニバーサルタイプである。



う蝕予防処置の基礎知識

う蝕予防処置 ★★★

- ・ 専門的な知識と技術を持った歯科医師・歯科衛生士が行う。
- ・ 特に歯科衛生士が行うう蝕予防処置は以下3つである。
 - ①フッ化物の局所応用（歯質強化が目的）
 - ②フッ化ジアンミン銀の応用（歯質強化が目的）
 - ③小窩裂溝填塞（歯冠の形態修正が目的）

フッ化物の基礎知識 ★★

自然界のフッ素

- ・ 海草，食塩
- ・ 茶，橘
- ・ 歯，骨
- ・ 鉱石（蛍石，氷晶石，リン鉱石など）

健康を守る手段

【プロフェッショナルケア（専門的処置）】

- ・ う蝕予防処置はこれにあたる。
- ・ 歯科医師，歯科衛生士（専門家）によって行われる。責任者は術者（歯科医師，歯科衛生士）。
- ・ フッ化物歯面塗布など。

【パブリックヘルスケア（公衆衛生）】

- ・ 市町村，学校，保育所において行われる。責任者はそれぞれの長（市長，学校長など）。
- ・ 上水道への水道水フッ素化（フッ化物添加），学校でのフッ化物洗口など。

【セルフケア（ホームケア）】

- ・ 各自でフッ化物配合歯磨剤などを購入し使用する。責任は使用者本人。



フッ素（F）はハロゲン元素で，化学的に最も反応性が高く，天然においてはフッ化物として存在しています。Ca, K, Na, Mg, Feに次いで体内における含有量が多いことも知っておきましょう。

問 歯科衛生士が行うう蝕の予防レベルはどれか。

- a 第一次予防
- b 第二次予防
- c 第三次予防
- d すべての予防

ポイント

う蝕を守る3つの手段と5つのステップ ★★★

	健康増進	特異的予防 (疾病予防)	早期発見・ 早期処置	治療および 進行阻止	機能回復(リハ ビリテーション)
プロフェッショナルケア (専門的処置・医療)	- 定期的受診勧奨 - リコール - 口腔清掃 - 栄養指導 - 食事指導	- フッ化物歯面塗布 - 小窩裂溝填塞 - う蝕活動性試験 - 薬物によるブラーク除去 - 免疫学的予防 - スクーリング - 予防矯正	- う蝕早期診断器による診断 - エックス線診断 - フッ化ジアンミン銀塗布 - 再石灰化療法 - 咬合調整	- 保存修復処置 - 歯内療法 - 継発症予防処置 - 拔牙 - 歯科矯正の処置	- 義歯による喪失歯の機能回復処置 - クラウン・ブリッジによる咬合回復処置
セルフケア (日常の注意)	- 丁寧な口腔清掃 - 食生活のコントロール	- ブラッシング - フロッシング - フッ化物入り歯磨剤使用 - 洗口剤による洗口	定期受診の励行		
パブリックヘルスケア (公衆衛生)	- 栄養指導 - 食事指導 - 育児指導 - 健康教育	- 水道水フッ化物添加(フッ化物濃度調整) - フッ化物洗口	- 定期健康診断の実施 - 保健所、市町村保健センターでのO₂管理 - 学校歯科保健におけるCO管理	社会保険制度	育成医療などの社会保険制度
	第二次予防		第二次予防		第三次予防

※太字は歯科衛生士のう蝕予防処置の業務範囲を示す
(中垣晴男ほか編著：歯科衛生士のための齲蝕予防処置法)

解答へのアプローチ

- a ○
- b × 早期発見・早期治療，治療および進行阻止である。
- c × 機能回復(リハビリテーション)である。
- d ×